

秋岡芳夫が提唱する
低座の暮らし

新和風の すすめ

工業デザイナー、秋岡芳夫が唱える

「二机多用」の考えを忠実に反映した

「モノ・モノの低座椅子」の体験会を開催します。

低座の暮らしを語るギャラリートークや

ミニチュア椅子を作るワークショップなど

関連イベントも同時開催します。

低座ダイニングの心地よさを

この機会にぜひお試しください。

- 開催時間／十時～十八時
- 定休日／水曜日、木曜日
- 会場／たなかしま家具店

四月二十九日(土)～五月二十二日(日)



いまのLDKの家具の数、多すぎます。一つでもいいから減らして広々と住みましよう。まずテーブル。ダイニング用とリビング用とをわけないで二つで兼用しましょう。高さが六十一～六十三センチの大きめのテーブルなら「二机多用」。食事・団らん・お客・一杯・書きもの、すべてが二つで間に合います。

そのテーブルに高さを合わせて、座面高三十八センチ前後で、肘がなくて座のクッションが硬目の椅子を選べば、この椅子も「二机多用」。リビングにもダイニングにも兼用できます。この二机多用なテーブルと二椅多用な椅子を組み合わせて使うことで、部屋がぐんと広くなります。

一椅多用に使う椅子の座は思いきり広い方がいい。「座布団ぐらいないとゆっくり腰掛けてられないよ」と、十数年大きな椅子でくらしながら来た経験から、ほくは椅子を買う相談に来た人に教えています。「バーのカウンターの腰掛けみたいなんじゃないやなくて、ご飯も大きな椅子でたべた方がおいしいんだ」と。



秋岡芳夫(あきおか・よしお)

文：『暮らしのためのデザイン』新潮社より 写真：森茂宏

< 展示アイテム >

< ギャラリートーク >



男の椅子



トヨさんの椅子



親子の椅子



トヨさんの長椅子



秋岡芳夫が唱える“一机多用”の暮らし

日時／4月30日(土)10:30~12:00

定員／6~8名程度(予約制)

参加費／無料

ゲスト／菅村大全(モノ・モノ主宰)、笠原嘉人(家具デザイナー)
三澤文子(建築家)

秋岡芳夫の代表作「あぐらのかける男の椅子」や「親子の椅子」、ジャパニーズデザインの傑作、豊口克平の「トヨさんの椅子」のほか、モノ・モノオリジナルの低座ダイニングテーブルも展示します。

消費社会にいち早く警鐘を鳴らし、生活文化の見直しを説いた工業デザイナー、秋岡芳夫。彼の著作『新和風のすすめ』から住まいや家具に関する言葉を紹介します。また、低座椅子の生まれた背景についても家具の専門家がお話しします。来場者には右の文庫本をもちろん進呈します。



『めいめいの暮らし、クリエイティブに 新和風のすすめ』(秋岡芳夫/著 モノ・モノ文庫)

展示会期間中にご成約された方には、木製ペーパーウェイトをもちろんプレゼントします。

< ワークショップ >

里山の木でつくる「ミニチュア椅子」

日程／5月21日(土)10:30~12:30 定員／4名(予約制・小学生以上)

参加費／4,400円(税込) 講師／笠原嘉人(家具デザイナー)



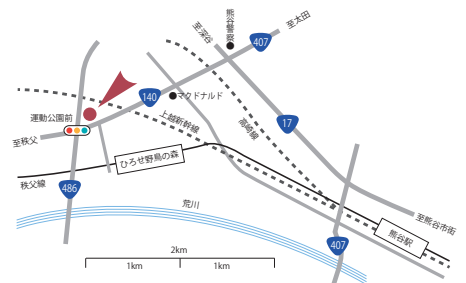
高さ約15cmの小さな椅子を組み立てます。フレームが完成したら、オイルを塗り、カラーリボン使って座面を編み込みます。完成した椅子はお子さんの人形遊びやスマートフォンスタンドとして使えます。材料は埼玉・三富地区のコナラを使用します。広葉樹や椅子にまつわる話もあり、家具作りの流れの楽しく学べます。

● イベントのお申し込みは、ウェブサイトのほか、公式 LINE アカウント、お電話でも承ります。

心地よい暮らしを作る
家において楽しさのある暮らしを作る

たなかじま家具店

〒360-0833 埼玉県熊谷市大字広瀬 490-1
営業時間…10:00~18:00 定休日…水曜日・木曜日
電話…048-599-0777 <https://tanakajima.co.jp/>
※ゴールデンウィーク期間中は5月6日(金)を除いて営業します。



※カーナビでの検索は住所または電話番号で行ってください。「たなかじま」で検索すると旧店舗の場所へ誘導されるので、ご注意ください。

QRコードからウェブサイトにアクセスできます。



公式サイト



LINE アカウント